

# 公益財団法人日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー 更新登録要件

公益財団法人日本スポーツ協会（以下、JSP0）公認スポーツ指導者登録規程に定める更新登録要件のうち、公認アスレティックトレーナー（以下、JSP0-AT）の更新登録要件については以下の通りとする。

## 1. 要件

### 要件 1：必要単位の取得

更新研修への参加や JSP0-AT としての活動実績を単位として算出し、有効期限の 6 カ月前までに合計 10 単位以上<sup>※1</sup>を取得すること。

単位取得にあたっては、JSP0-AT のコンピテンシーをふまえ、自己分析のうえで自身に必要な研修を 11 カテゴリーから選択し計画的に取得することが望ましい。

### 要件 2：一次救命処置(BLS)資格の保持

更新登録に伴う認定予定日において有効な JSP0 が認める BLS 資格を、有効期限の 6 カ月前までに申請すること<sup>※2</sup>。



※1 講習・試験免除適応コースのアスレティックトレーナー専任教員（以下、AT 専任教員）が AT 専任教員を継続するために取得が必要な単位は 20 単位以上とする。

ただし、AT 専任教員講習会修了後から初回の JSP0-AT 資格更新までの期間が 4 年未満の場合に限り、特例として取得が必要な単位は 10 単位以上とする。

なお、上記特例を除いて、20 単位未満だった場合、AT 専任教員としての資格を喪失するが、取得した単位が 10 単位以上だった場合は、JSP0-AT 資格の更新登録要件・要件 1 は満たすものとして扱う。

（「アスレティックトレーナーコース申請基準・新カリキュラム対応版」参照）

※2 要件 1 の単位取得として、JSP0 が認める BLS 資格講習会を受講した場合でも、更新登録に伴う認定予定日において有効な状態の BLS 資格を保持していない場合、要件 2 を満たさない。

## 2. 単位の申請・承認に関する事項（別表：カテゴリー別の単位表参照）

単位は、カテゴリーごとに別表に定める内容に基づき算出し、所定の方法によって申請されたものを JSP0 が承認する。

なお、更新登録に際して、申請忘れ・申請漏れがあっても、遡っての承認はしない。また、更新登録手続き完了後の新たな認定日をもって、取得単位は 0 単位にリセットする。

### (1) 更新研修への参加（カテゴリーA～F）

指導者マイページや JSP0 ウェブサイトにおいて対象となる研修会等を確認のうえ、主催団体等に申し込むこと。

### (2) JSP0-AT としての活動実績（カテゴリーG～K）

JSP0 ウェブサイトにおいて対象となる活動等を確認のうえ、その条件に該当する教育・学術・研究・スポーツ現場での実績を指導者マイページにて申請すること（一部のカテゴリーや活動を除く）。

【別表】 カテゴリー別の単位表

(1) 更新研修への参加

カテゴリー	カテゴリー	単位数			必須	内容	単位換算方法	単位申請
		上限/1 周期						
		一般	専任教員					
A	JSP0 が認める一次救命処置(BLS)資格講習会	2 単位	2 単位	1 単位	一次救命処置(BLS)資格講習会	1 単位/1 回	本人	
B	インテグリティ研修	1 単位	1 単位	1 単位	公認スポーツ指導者全員に義務付けるインテグリティに関する研修(動画視聴等を予定)	1 単位/1 回	JSP0	
C	JSP0 が認める国内での研修	-	-	2 単位	学術団体主催の学会等	1 単位/1 日, 2 単位/2 日以上	本人	
					都道府県 AT 協議会等主催の研修会	1 単位/2 時間以上	団体	
					アスレティックトレーニング関連団体主催の研修会	1 単位/2 時間以上	団体	
					JSP0 公認スポーツ指導者対象の更新研修	1 単位/2 時間以上	団体	
D	JSP0 が認める国外での研修	5 単位	10 単位	-	国外に拠点のある団体が主催するアスレティックトレーニング関連の研修	1 単位/1 大会	本人	
E	各種セミナー	1 単位	2 単位	-	JSP0-AT のコンピテンシーに沿った専門的な知識と実践に関わる研修等と、それらの基盤となるスポーツ医科学の基礎知識に関わる研修等	1 単位/2 時間以上	本人	
F	教授法に関する講習	1 単位	4 単位	1 単位 (専任教員のみ)	AT 専任教員ミーティング、AT 専任教員講習会、コーチデベロッパー養成講習会	1 単位/1 回	JSP0	

(2) JSP0-AT としての活動実績

カテゴリー	単位数			必須	内容	単位換算方法	単位申請
	上限/1 周期		一般				
	専任教員	一般					
G	スポーツ現場における JSP0-AT としての活動	3 単位	3 単位	-	スポーツ現場における JSP0-AT としての活動 ※カテゴリー「AT 免除適応コース承認校が実施する JSP0-AT の教育活動」は除く	1 単位/1 日 3 時間以上の活動時間を有する日 が 1 年間で 100 日以上	本人
H	アスレティックトレーニング学関連領域に関わる学術・研究活動	3 単位	4 単位	-	研究発表（口頭・ポスター）*1	2 単位/筆頭者のみ・1 演題 1 単位/筆頭者以外・1 演題	本人
					論文執筆（原著・資料・総説・実践報告・事例報告）*1	3 単位/原著論文・筆頭者のみ・1 論文 2 単位/原著論文以外・筆頭者のみ・1 論文 1 単位/筆頭者以外・1 論文	本人
					専門書籍の執筆等の作成*2	1 単位/1 回	本人
					学会等における演者・シンポジスト	1 単位/1 回	本人
I	研修会等での教育活動	3 単位	6 単位	-	上記 A~F の各種セミナーの講師	1 単位/1 講演	本人
J	AT 免除適応コース承認校が実施する JSP0-AT の教育活動	3 単位	3 単位	-	AT 現場実習指導者としての活動	1 単位/受入人数に関係なく年間 50 時間以上	学校
					AT 実技確認テストにおける検定員・プレーヤー役としての活動	1 単位/1 年間で 1 日以上	学校
					AT 免除適応コース承認校における AT 専門科目カリキュラムの講師	1 単位/1 半期(上期/下期) ※科目数に関わらない	学校
K	JSP0 が実施する JSP0-AT の教育活動	4 単位	4 単位	-	JSP0-AT 養成講習会の講師	1 単位/1 講習会	JSP0
					AT 現場実習指導者説明会の参加	1 単位/1 回 ※1 回限り	JSP0
					実技確認テスト検定員説明会の参加	1 単位/1 回 ※1 回限り	JSP0

\*1 単著又は共著に含まれている者とする。

\*2 本人が執筆、監修、翻訳、監訳や発表を行ったことを証明する資料のコピー（書籍の場合は書籍名と執筆者、監修者、翻訳者、監訳者が確認できるページと目次のコピー）を提出する。雑誌および月刊誌の連載等は含まない。

附則 この基準は、JSP0-AT 部会の決定により変更することができる。

作成日 令和 6 年 4 月 1 日